

しこう
今月の思考コーナー！

れいわ
令和：

しよしゆん れい げつ よ やわら
初春の令月にして、気淑く風和ぎ、
きようぜん ひら はいご かお
梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫らす。

－万葉集「梅花の歌三十二首の序文」

現代語訳：

よ きよ す
初春の佳き月で、空気は清く澄みわたり、風はやわらかくそよいでいる。
かじん きようぜん おしろい きじん かざ
梅は佳人の鏡前の白粉のように咲いているし、蘭は貴人の飾り袋の香のように匂っている。

－新版 万葉集 － 現代語訳付き（角川ソフィア文庫）

日本の近代元号

げんどう 元号	しゅってん 出典	いみ 意味
明治 1868～	聖人南面而聴天下、嚮明而治。 易経（えききょう）	えら せいじ 偉い人が多くの人に向けて政治をすれば天下はよくなる。
大正 1912～	大亨以正、天之道也。 易経（えききょう）	とく ししょう 世の中の徳が支障なくゆきわたり、政治が正しく行われる。
昭和 1926～	百姓昭明、協和萬邦。 四書五経（ししよごきょう）	きょうぞんはんえい 国民の平和および世界各国の共存繁栄を願う。
平成 1989～	内平外成。・地平天成。 史記（しき）・書経（しよきょう）	たっせい 国の内外、天地とも平和が達成される。
令和 2019～		

元号って何？



京丹後市教育委員会事務局
学校教育課

令和元年5月 Vol.8

エイドリアン

好

奇

号

5

月

号

京丹後という場所
知っていますか？



キョウタンゴ？
どこなの？
聞いたことないな～



今月のスター！ 京丹後市

外国の方にとって京丹後市とはどういう場所なのか、気にかけてことがありますか？「Kyoto（京都）」と言ったら、多くの外国人が清水寺や銀閣寺など有名なお寺を有する京都市のイメージを思い浮かべるでしょう。京都府にあるが、京都市から離れている「京丹後市」にて国際交流員として働いている2人（ジェレミー&エイドリアン）がどう感じたか、意見を紹介したいと思います。

京丹後市の概要

京都府の最北部に位置しており、丹後半島の大部分を占めている。日本海側気候であり、豪雪地帯に指定されている。人口は約5万4千人で、人口密度は107人/km²（豊岡市:114人/km²、福知山市:140人/km²、大阪市:12,110人/km²）。有名な観光地として久美浜湾や夕日ヶ浦があり、近くには宮津市の天橋立や豊岡市の城崎温泉などがあります。



「私が感じた京丹後市」 —ジェレミー

私は去年の8月に京丹後市へ来ました。京丹後市のことが分からず、友だちに聞いたら相当な田舎だよと言われて、田んぼに囲まれた寂しい小屋みたいなシーンが頭に浮かびました。でも京丹後市に着いたら、マクドナルドの「黄金のMサイン」が目に入ってきて、すぐ安心しました。「京丹後市ってそこまで田舎じゃないですね！」とマクドナルドの重要性を語りながら電車で想像していたことを初対面の担当者に伝えました。本当にそうです。和食の作り方はおろか、日本のスーパーで何を売っているかを知らない上に、メニューを読むことさえできない外国人にとってマクドナルドの存在はどれほど大事なことが！今も常連にしているお店であって、ありがたい存在です。

京丹後市で“感じた”ことはたくさんありますが、一番びっくりしたのは丹後弁です。初めて職場に着いたら、ここで話されている方言が標準語でも関西弁でもなく、終助詞の抑揚が独特だという「丹後弁」であることに気が付きました。初めての「だで〜」が耳に入った時、「あれ？『やで』じゃないの？」とびっくりしました。丹後弁について興味が湧いたので、インターネットで丹後弁のことを調べてみました。すると、終助詞と言葉自体が標準語と異なるにも関わらず、丹後弁のアクセントが「東京式アクセント」だと分かりました。有名な「京都」の一部なのに、アクセントが「東京式アクセント」なのはすごいと思います。私はできるだけ標準語で話そうとしていますが、丹後弁を常に耳にしているせいか、無意識に上がり下がりの激しい「ね〜」が口を出ることもあります。



「54字の物語」とは？

9マス × 6行の「正方形の原稿用紙」に収められた「54字の物語」は、短いからこそ「意味が分かるゾクゾクする」短編小説です。2年前にネット上で話題になって、今は「54字の文学賞」というイベントが開催されています。

作り方のコツ

- 1) どんなテーマで物語を書くか決める。
- 2) テーマにそって「普通の物語」を考える。
- 3) (2)とは別の展開を考える。
- 4) (3)で考えた展開に対して、「どうしてそうなったのか？」を考えながら、字数を気にせずに物語りを作る。
- 5) 54字ぴったりになるよう調整する。

【京丹後はどこ？】 —エイドリアン



2 / 2 ページ 「54字の物語 怪」(氏田雄介 著 / PHP 研究所 刊) 発刊記念プリント

「私が感じた京丹後市」 —エイドリアン

広島大学で一年間留学した僕には、日本という国は決して知らない国ではありませんでした。高校の時から日本語を勉強し始め、日本が好きだから留学し、日本で仕事をしようと思いました。ただし、勤務先が「京都府京丹後市」と分かった時、正直戸惑いました。「田んぼしかないように見えるけど、大丈夫かな」という思いを抱えながら、2018年8月に京丹後市へやってきました。

最初は新しい生活や仕事で余裕はありませんでしたが、8ヵ月が経った今はもう十分に慣れてきました。慣れるまで一番困ったことは移動時間です。京都市まで電車で2時間半もかかることに苦労していました。同じ京都府なのに遠いと思うものの、遠いからこそ分かるものが見えるようになりました。それは日本の平和と自然のきれいさです。

京丹後市は豊かな自然に恵まれた町です。

